

夏の林檎 - 空の境界

Llenar los paréntesis con la lectura del kanji/かつこ (paréntesis) をかんせい (completar) してください

かきね ひまわり かく
垣根の向日葵に隠れて
急いで()キスをした
君の柔らか()なほっぺたは
きつととても甘い()だろう

のうさぎお
野兎追いかけて草の中()
だれ み
誰にも見えないね
そし のはら
素知らぬ顔()した野原に
ぬ す くつ やじるし
脱ぎ捨てた靴の矢印

なに
何もない夏()でした
こい
ただ恋をしただけでした

おど みかづき
踊る三日月真夏の夜()は
こい つ く
夢見る()恋を連れて来る
レモンいろ ほし かぞ
檸檬色した星を数えて
君の心()にキスをする

ふえ ね きみ
笛の音が君をさらってく
風の中()やがて来る秋()へ

わか みどり りんご
若すぎる緑の林檎は
あじ
銀紙()の味がする
みの えだ
切なさ()が実る枝から
きみ と
君が盗ってくれました

ねむ
眠らない魚の夢見る()

なつ
終わらない()夏でした

こころ きせつ りんご
心も季節も林檎も
いろづ

色付く事()さえ忘れて()

み にわとり
寒がり()な風()見の鶏が

うた
もうすぐ秋()だよと謡う

ゆ みかづき
揺れる三日月真夏の夜()に

わす こい
忘れた恋を思い出す()

ほし すずおと
夢()のひとひら星の鈴音
君の心()にキスをする

りんご
その夏()のあどけない林檎
むね かじつ
いつまでも胸にある果実

かきね: valla, cerca

ひまわり: girasol

かくれる: esconderse

のうさぎ: Conejo japonés

おいかける: perseguir

そしらぬ: desconocer

のはら: campo

ぬぎすてる: descartar

やじるし: flecha

みかづき: nueva luna (creciente)

つれて来る: traer (consigo)

さらわう: llevarse arrastrando, barrer

まなつ: mitad de verano

かぞえる: contar

ふえ: flauta, pipa

やがて: eventualmente

わかすぎる: demasiado joven

ぎんがみ:

えだ: rama

とる: robar

ねむる: dormir

きせつ: estación

にわとり: pollo

ゆれる: sacudir

すず: cascabel

あどけない: inocente

かじつ: fruta